



海禅寺新聞『第24号』

二〇一九 冬号 Vol.24

新しい元号となった令和元年の今年も、あと僅かになりました。新元号に込められたメッセージのごとく、「世界が調和され、平和が永遠に達成される」世の中になることを願います。またこの「令和」は外務省による公式発表によると、英訳は「ビューティフル・ハーモニー (beautiful harmony)」
「美しい調和」とのこと。まずは私たち一人一人が世の調和にわずかでも寄与できるように、自分自身の日常の姿を見つめ、我がありようを整えていきたいものです。

生きる力 vol.99 『送付』

今回の特集は『お正月だからこそ考えよう 亡き人を安心して送り・供養するために③ 年回忌法要』です。四十九日忌を始めとする御法事の意義と合わせて、十三仏信仰についても触れています。海禅寺ではお通夜の際、亡き方のご遺体に白布に金糸で十三仏が描かれた送り布(掛け軸状の仏画)をおかけし、そのまま納棺の後、茶毘に伏してご供養をしております。これは独自に京都の織物職人と相談して製作したものです。この供養の仕方があるとき総本山のとある先生の耳に入り、その先生伝いに今では全国の真言宗智山派の寺院で、同じようなやり方をする僧侶が増えてきたと聞きます。

また巻頭の「智山寺院探訪」のコーナーでは愛知県名古屋市の「福生院」(通称:袋町お聖天)さんが紹介されています。本宗派の中で聖天信仰寺院として大変に有名な寺院で、今では名古屋で一番のパワースポットとして注目を集めているそうです。

ところで海禅寺では、8年前より毎年5月の第3日曜日に「聖天祭」を開催しています。この祭りに際して海禅寺の副住職が、こちら福生院のご住職である松平實城僧正に聖天法の伝授を請い、その法(華水供)を授かりました。こちら福生院さんは丁寧に隅々まで境内が整い、静かで優しい空気がながれる素晴らしい寺院です。ぜひ名古屋へお出かけの際はご参拝ください。

初祈願お申込みを送付

新春恒例となっております『初祈願大護摩祈禱札のお申込み』を同封いたしました。海禅寺の不動堂にて、ご本尊不動明王の御前で勤める護摩祈禱にてお加持をした護摩札をお授けいたします。当山の不動堂ご本尊である不動明王は、真田昌幸公、信繁公、信之公も祈願をしてきた由緒ある霊尊であります。新年の2日は、読経と太鼓、そして法螺貝の法音が響く初祈願に、ぜひお誘いあわせて、ご参拝ください。皆さんで令和二年子(ね)の年が、よりよい年であることをお祈りいたしました。

日程: 新年
1月2日(木)
時間: 祈禱
午前10時



※終了後は粗酒粗肴をご用意いたします。

お車でのご参拝の方はご配慮ください。
※初祈願ご祈禱札をご希望の方は、12月29日(日)までに、同封の『初祈願御申込御芳名帳』にてお申込みください。
ファックスでも可 Fax : 0268-26-1147

修正会

新年最初の法要を、修正会と言います。過ぎ去った年の過ちを反省し、新年の初めに正しい行いをご本尊様にお誓いする法要です。海禅寺でも年が明けた0時より、本堂・不動堂・聖天堂でお勤めいたします。どうぞご参拝ください。(申込不要)
日 時: 新年1月1日 午前0時

※本堂で住職が各家ご先祖の回向法要を、不動堂と聖天堂では副住職が祈願法要をお勤めします。

総本山浄財 完納御礼

今年の夏にお願いをしました、宗祖弘法大師ご誕生千二百五十年奉修勸募に際し、皆様におかれましてはご賛同ご協力をいただき、大変にありがとうございました。(詳細は夏期に送付済みの「寄附のお願い」をご参照ください)

お陰様をもちまして、皆様にご志納いただいた浄財をとりまとめ、また分納いただく分は立て替えをし、いち早く総本山に完納することができました。宗派刊行物にて公開されていますので、閲覧ご希望の方はどうぞお申出下さい。また海禅寺の慶讃事業(参道土塀の増築)につきましては、最終的なご至納額合計が出た時点で、発注をさせていただきます。皆様のご協力に対して心より感謝と御礼を申し上げます。合掌



海禅寺にかかわる皆さんの声を、お数珠のようにつなげ、ご紹介していきます

認定NPO法人 新田の風

事務局長 森江 宏さん

11人目

今回は、海禅寺も活動に参加協力をしている、認定NPO法人「新田の風」の事務局長、森江宏さんです。

認定NPO法人「新田の風」は、海禅寺さんが位置する新田地域を中心に、高齢の方が住み慣れた地域で自分らしい人生を全うできる社会を目指して、「地域包括ケア」を志す活動をしています。私たちの原点は今から7年前。当法人が立ち上がる以前のある出来事に遡ります。現在理事長を務める「い内科クリニック」の井益雄医師が、新田自治会館で開催された地域医療について考える講演会で、100人を超える聴衆の前で、突如泣き出してしまったのです。それは以前、総合病院に勤務していた頃、在宅医療を推進しながらも担当していた患者さんが切実に願っていた自宅での看取りを実現できなかったエピソードを語る最中、その悔しさから思わず涙が溢れ出したのでした。「本人の意思を尊重して、自宅で最後を迎えさせてあげたかった」と。井医師のこの思いから、私たちは家庭の「介護力低下」「重い負担感」を地域で支える仕組みを模索しはじめました。その過程で新田地域に住む世帯にアンケート調査を実施。これに対して80%以上の回答があり、たくさんの方の意見が集まりました。そして、この地域住民の意識の高さを原動力に、「安心して老いを迎え

られる街づくり」を活動指針の看板に掲げ、医師、薬剤師、福祉関係者、民生委員、僧侶といった専門職者、そして何より我が事として問題意識を持ち集まった地域の皆さんとが一体になり、私たちの活動が始まりました。現在展開している活動の主なものとは次の通りです。

①『ふれあいサロン』

「地域で支え合える仲間づくりの場」として、毎週金曜日に談話会を開催。
場所：新田の風事務所
(上田市中央北1・2・11)

※海禅寺、芙蓉園の道を挟んで東隣です。お越しの際は、寺の駐車場をお使いいただいて結構です。ただし芙蓉園で行事のある際はご遠慮下さい。



- ・時間：午前10時～12時
午後1時～3時
 - ・費用：100円(茶菓子代)
 - ・申込：不要(どなたでもご参加いただけます。海禅寺のお檀家さんもぜひおいでください)
- ※気軽に何でも相談できる緩やかな場として「よろず相談所」を併設。必要に応じて各専門家が対応しています。

②『認知症サポーターレベルアップ研修会』

認知症の理解を深め、適切な対応ができることを目的にして年6回開催。
※本年度は長野大学社会学部学生と共同企画

③『講演会・研修会』

各種講演会の他、井理事長による「風の未来塾」(テーマ：介護、看取り等)

開催、講演および命を考える語り合いの場「海禅寺サロン」開催。(本年は11月30日に開催させていただきました)

このように皆さんからのご意見を活かし、各活動を進めています。さて、私の自己紹介をさせていただきますと、上田に移住してきて早いもので5年が経ちました。前職の経歴(広告会社 博報堂で45年奉職。スタジオジブリ立ち上げ時、「ナウシカ」をはじめとする映画のプロモーション。)に注目していただき、「NHK大河ドラマ真田丸」放映時に、上田市シテイ・プロモーション室へ、アドバイザーとして参加するお声掛けをいただいたことが上田で暮らす契機となりました。上田に住みはじめて感じたことは、この街には上田市の未来を考えて行動している人がたくさんいるなあという印象を持ちました。これまで東京をはじめ、いくつもの地方都市で暮らした経験がありますが、他の地域ではあまりそういう雰囲気を感じませんでした。しかしその一方で気になったのは、そうした方達が報われていない感じがしました。それは、せつかくの志に対して、周囲が連帯し広がっていく気風が少なく感じたからです。

私の「新田の風」との関わりは、一支援者として始まりました。その活動に共感し、徐々にスタッフとして仲間入りをしました。高齢者が直面する様々な問題は「明日は我が身の一大事」と、今自分にできることがあるればお手伝いしようという思いでいます。前職での経験を生かし、新田の風の活動や思いを「見える化」して大きな広がりを作り出せたらと奮闘しています。

死は誰にでもいつか必ず訪れます。私は仲間の皆さんと共に今を全うしながら、そ

の時が来たら「私の人生こんなもんだ」と自分のこれまでの軌跡を潔く眺めたいと思っています。そして私たち「新田の風」は、まだまだ微風ではありますが、ぜひ皆さんにもご参加いただき、大きな風として暖かくこの上田の街を吹き渡る取り組みでありたいと思っています。どうぞご注目ください。
(寺にて聞き取り編集)

寺より

副住職も理事の一人として活動をしている認定NPO法人「新田の風」の取り組み。海禅寺檀信徒の皆さんにもぜひ関心を持っていただけたら幸いです。「地域包括ケア」の取り組みは、現在国をあげて整備を進めている仕組みです。超高齢化社会に求められる介護の在り方として、各地域における「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」の5つのサービスを一体的に提供できるケア体制を、各地域の実情に応じて構築しようというものです。森江さんもおっしゃっているように、誰もが「明日は我が身」にやってくる「老い」とそれに伴う生活の変化、そしてその先を思うとき、今から我が事として行動を始めるのはとても大切なことです。寺には「新田の風」の資料やエンディングノート等の販売物もありますので、ぜひお気軽にお声掛け下さい。



授賞式 左から2人目が、森江 宏さん (12月10日 東京 読売新聞本社にて)

○この度、認定NPO法人「新田の風」の活動

が、『第17回読売福祉文化賞』を受賞しました。読売新聞社が母体となり、新しい時代に相応しい福祉活動を実践しているとして、全国で6法人が選ばれました。

報告

しめ飾り作ろう会

本年も有志の檀信徒の皆さん方と、海禅寺各所に供えるしめ飾りを手作りしました(ワラは宮島総代提供です)。今年も立派なお飾りができました。ここにご報告いたします。1月2日の初祈願にご参拝の際は手をあわせつつ、どうぞご覧下さい。

告知 海禅寺スキーコンペ

海禅寺檀信徒の皆さんとの交流企画として有志の方達と発案しました。ゆるやかにスキーを楽しみながら、親睦を深めたいと思います。関心をお持ちの方はどうぞお問い合わせ下さい。

日程：新年2月15日(土)
詳細：調整中
申込：電話にてお申し出ください

地球は
それ自体が
大きな
生命体である。

門前にある掲示板で、月替わりでご紹介している仏教の言葉や、名言格言のあれこれ。最近ある方から、毎日の散歩時にこの掲示板を楽しみにしています、という嬉しいご報告を頂きました。

生物物理学者 ジチムスラフロッグ

発行元 海禅寺